

インドにおける水素の長期供給受注

日本酸素ホールディングス株式会社（社長：濱田敏彦、以下「NSHD」）は、NSHDの米国事業会社である Matheson Tri-Gas（本社：米国テキサス州、以下「Matheson」）が、インド政府系公社ヌマリガル製油所（NRL）から20年間の水素および副生蒸気の供給を受注したことをお知らせします。

記

Matheson は、アッサム州ヌマリガルにある NRL の製油所に隣接する 132kNm³/h（285トン/日）のプラントから水素を供給する予定です。このプラント建設にあたっては、プラント建設・エンジニアリング会社である Larsen & Toubro Limited（インド）とパートナーを組み、デンマークの Topsoe A/S の改質技術を利用し、高効率の供給体制を確立します。本プラントから排出される水素および副生蒸気は、インド政府が進める北東部開発計画のうち、戦略性の高いヌマリガル製油所の拡張プロジェクト（NREP）で使用されます。この計画には、パラディーブ・ヌマリガル原油パイプライン（PNCP）プロジェクト、パラディーブの原油輸入ターミナル（COIT）、インド・バングラデシュ・フレンドシップ・パイプライン（IBFP）、ヌマリガル・シリグリー州間プロダクトパイプライン、2G エタノールプロジェクト^(*1、2) も含まれます。当社グループは、このプロジェクトの重要な一翼を担うこととなります。

*1: Economic Times、2022年9月19日号

*2: The Telegraph、2022年12月8日付

今回の提案スキームは、Matheson の Global HYCO ビジネスユニットが主導し、当社が持つ設計・技術を用いてパートナーとなるエンジニアリング会社と共同で立ち上げたものです。これにより、さまざまな原料や燃料に対応した柔軟性と操作性のある高いオペレーションが可能となります。引き続き、Matheson/NSHD では当社グループの掲げる環境負荷低減と経済性を両立しながら新たな事業機会の獲得をめざします。本プラントは2025年に完成し、稼働する予定です。

このプロジェクトは、NSHD が戦略的かつ経済的なプロジェクトへのガス供給を通じて大きな成長を目指すことを示すものであり、当社グループの HyCO 事業のグローバル展開に大きく貢献するものです。NSHD は、成長市場である南・東南アジアでの存在感を高め、インドでの Global HYCO 事業を確立していきます。

NSHD は、カーボンニュートラル社会の実現に向け、厳選されたプロジェクトに水素、合成ガス、一酸化炭素製品を供給する Global HYCO の取り組みの下、複数の事業やプログラムを推進しております。今後もこの事業をグローバルに展開することで、成長とカーボンニュートラル社会の実現に向けた機会を探求していきます。

以上

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513